

前鬼の里への古道・牛抱坂(旧前鬼道)の踏査

◇実施日：2017年03月25日(土) 薄曇り時々晴

◇参加者：川島 功、橋本 梓、沖崎吉信、山川治雄、梶野照雄。

5名。

3月21日、沖崎さんに連絡して、牛抱坂の踏査を26日に行うことを決めたが、翌日に電話があり、「24日に熊野の山川さん宅でミーティング、25日に牛抱坂としたい」との事であった。

天気予報では25日の天気は、良好なようなので、すぐにOKして24日に新宮へ向かった。

山川さん宅は、熊野市有馬で「山ちゃん」と言うお好み焼き店をされていて熊野市では繁盛店と聞き、山の帰りに一度店へ寄ろうかとの話が山川さんに伝わり、急遽、店でなく山川さんの実家(熊野市池川)のバーベキュー山荘にお誘いがあり、山上皓、川島、沖崎、橋本、中前、児嶋、梶野の7名が16時から19時迄、お好み焼き+焼肉+椎茸+干物+猪肉等の美味しいご馳走で懇親会を開き、川島、山川、橋本さんも踏査に参加することになった。



大きな山桜の下にて



お好み焼きやバーベキューを囲んで懇親



25日。新宮のホテルを午前7時前にチェックアウトして、ホテル前で沖崎さんを待つ。7時ちょうどに、橋本さん同乗の沖崎車が到着、川島さんと山川さんを拾って池原に向かった。午前8時20分、池原到着、トイレを済ませて前鬼口に向かう。

前鬼口から前鬼林道に入り、西の谷より約300m前鬼側の石垣が積まれた牛抱坂登り口に到着、ここで川島、橋本、山川の3名を降ろして、沖崎車を林道ゲートにデポするため2台でゲートまで行った。

ゲート前に駐車車両は無く、手前の広場に2台が止まっているだけだった。西の谷まで戻って路肩に梶野車を止め登山開始、



西の谷側登山口



牛抱坂を登り始める



尾根合流点で小休止

この山域に数十回入っておられる山川さんも始めてのコースで先頭に登る、やはり急登である。

牛抱坂の古道は、はっきり残っていて、土止めや階段があちこちに見られた。途中、西の谷方向と北側の林道方向へ下る道が確認されたが、これらは林業の作業道と思われる。

尾根の合流地点で小休止、こんな急登なのに小牛を抱いて登ったのか、昔の人は本当に偉いと思った。

登るにつれ不動七重滝(不動の大滝)の滝音が響き、梢越しに滝口が見えた。牛抱坂の急な登りP903m近くは露岩と獣除けネットがあり、P903を越えるまでは順調と言っても、急登とピーク辺りの尾根は永年の間に小径木が生え、枝打ちなどで2時間かかった。



整備の跡が見られる 903m辺りのネットに沿って P903m辺りから眺望

地図ではP903m西側の鞍部から少し登り、大タワ谷の源流部をトラバース気味に道は続いているが、獣道らしいものがあるが、古道の面影が全く見当たらない。大きな岩に突き当たり「ここは無理やで」と高捲きを始めた。ここで岩の向う側や下方を確認しなかったことが悔やまれる。

高捲きは、古い獣除けネットに沿って尾根を進んだが、両側から小径木が伸びて行く手を遮り、枝打ちをしながらなのでスピードは上がらない。尾根に出る手前で川島と梶野そして山川・沖崎・橋本と3手に分かれ、若干の遠回りになったが、大タワ尾のP998南側の牛抱峠(960m鞍部)に到着。見える前鬼の里は望めなかった。午後1時前だったのでここで昼食。食後、西側へ下る古道(旧前鬼道)と思われる道を発見して歩き始めた。しばらくしてGPSを見ると、転送したウェイポイントよりも20m位高い位置を歩いて

いる、下方を注視ながら歩くが、道らしい所は発見できなかった。



牛抱峠尾根を望む



牛抱峠尾根に上る



ウリネ谷を渡る

午後1時30分、きれいな沢を渡る。帰ってから確認すると、ウリネ谷の源流部付近だった。ここには林業のワイヤーロープが多数残置されていたので、歩いてきた道は作業道かもしれない。

五鬼助さんから獣除けネット沿いに道があると聞いていたので、沢を渡り植林帯の獣除けネット沿いの踏み跡のある作業道に沿って、黒谷峠(Ⅲ△1333.7m)から北北東に派生した尾根(休場ノ尾)標高900m地点に到着し小休止。梢越しに前鬼の里が見えた。

牛抱峠まで思わぬ時間がかかり、これからどれだけかかるか先行き不安であったが、この地点に来て踏査の目安がつき安堵する。尾根地点を横切り下へと続く作業道を辿ると、沢の上部を渡るようになる。GPSは大丈夫かと聞かれて、踏み跡は続いているが、次第にGPSが示すウェイポイントとの差は広がり、最大で150m位になった。

しかし方向はほぼ正しいので下へと下る作業道を歩き続けると、徐々に標高が下がって、林道が見えるようになってきた。古地図が示す前鬼側の降り口はもう少し向うだが、依然高い位

置を歩いているため、ジグザグに作られた古い作業道を辿って林道へ降りることを決断、20分ほど降りると道らしいものと交差した。ここが古道・旧前鬼道の続きであると思われる。

林道はすぐ下に見えているので、4名はそのまま林道へ降りてもらい、降りた地点の電柱にテープで印をした。

梶野一人で古道を前鬼側へ歩いた。この道も簡単ではなかった。距離は短かったが、2回高捲きがあり林道を歩く方がずっと楽だった。降りた場所は18日に見つけた場所、そのものだった。林道に降りて小仲坊へ向かった、



林道へと急斜面を下降

林道に降りる

小仲坊に到着

小仲坊に到着したが、五鬼助さんは不在、林道ゲートまで歩いて帰る途中で、登ってきた五鬼助さんと遭遇した。ゲートから再び小仲坊(干物持参の為)に戻って、今日の結果をお話しました。牛抱坂(旧前鬼道)通りでは無いが、全コースを踏査出来たので、何処を調査、踏査するかが判明した。

行動タイム

新宮7:00→8:40牛抱坂登山口(林道ゲート)に車デポ)9:05→9:55尾



根合流地10:05→11:13P 903m1:20→12:55大タワ尾の鞍部・牛抱峠13:20→ウリネ谷13:30→14:00休場ノ尾根(900m地点)14:15→14:45黒谷寄り前鬼林道→15:00小仲坊15:15→15:40林道ゲート15:45→15:55小仲坊16:20→16:55前鬼口→18:00新宮。(記:梶野)